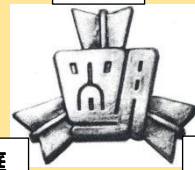


明倫小コミスクだより

学校



H30 年度第 1 号 平成 30 年 5 月 25 日 萩市立明倫小学校

家庭

地域

本年度第 1 回学校運営協議会が開催されました



4 月 25 日（水）に、平成 30 年度第 1 回学校運営協議会が開催されました。

はじめに、教育委員会から委員に任命書が渡され、19 名の委員の代表として榮会長が受け取られました。

その後、今年度の明倫小コミスクの展開について基本的な方針等が熱心に協議され

ました。

この日協議された主な内容は、以下のとおりです。

◇平成 30 年度学校経営方針について（校長）

昨年度末に出された学校運営協議会からの提言を受けて、本年度の明倫教育、グランドデザインを説明
→承認

◇平成 30 年度コミュニティ・スクール展開について（コミスク担当教員）

三者協働の体制づくり、PDCA ロードマップ、三矢会募集について提案

→「明倫小コミスクへ地域の団体等からの参加・参画を得る方向性」を共通理解

→「地域団体等の参画体制」及び「三矢会募集の仕方」については、よりよい形を検討する余地があるため、次回に持ち越し

◇委員の担当プロジェクト決定

明倫小コミスクを展開する 5 つのプロジェクト（「明倫教育 PRJ」「学力向上 PRJ」「心の教育 PRJ」「体づくり PRJ」「環境クリーン PRJ」）に学校運営協議会委員が
分担して所属（統括する立場として）

明倫小学校運営協議会委員の皆様 敬称略

○保護者：矢次 勝己、田中 美晴

○地域住民：三上 智奈美、村田 明美、富川 芳人、榮 中（会長）、大嶋 栄、石丸 智子（副会長）、三戸 進、廣畑 かほり、寺川 清美

○学識経験者：梅地 信吾、長尾 齊治

○学校関係者：村岡 健二、荒瀬 龍治、中津江 瑞穂、岡野 富司雄、加藤 浩

○関係行政機関職員：池永 郁夫

委員さんのリーダーシップのもと、皆様の参加・参画により益々充実した明倫小コミスクになりますようご理解とご協力をお願いします。

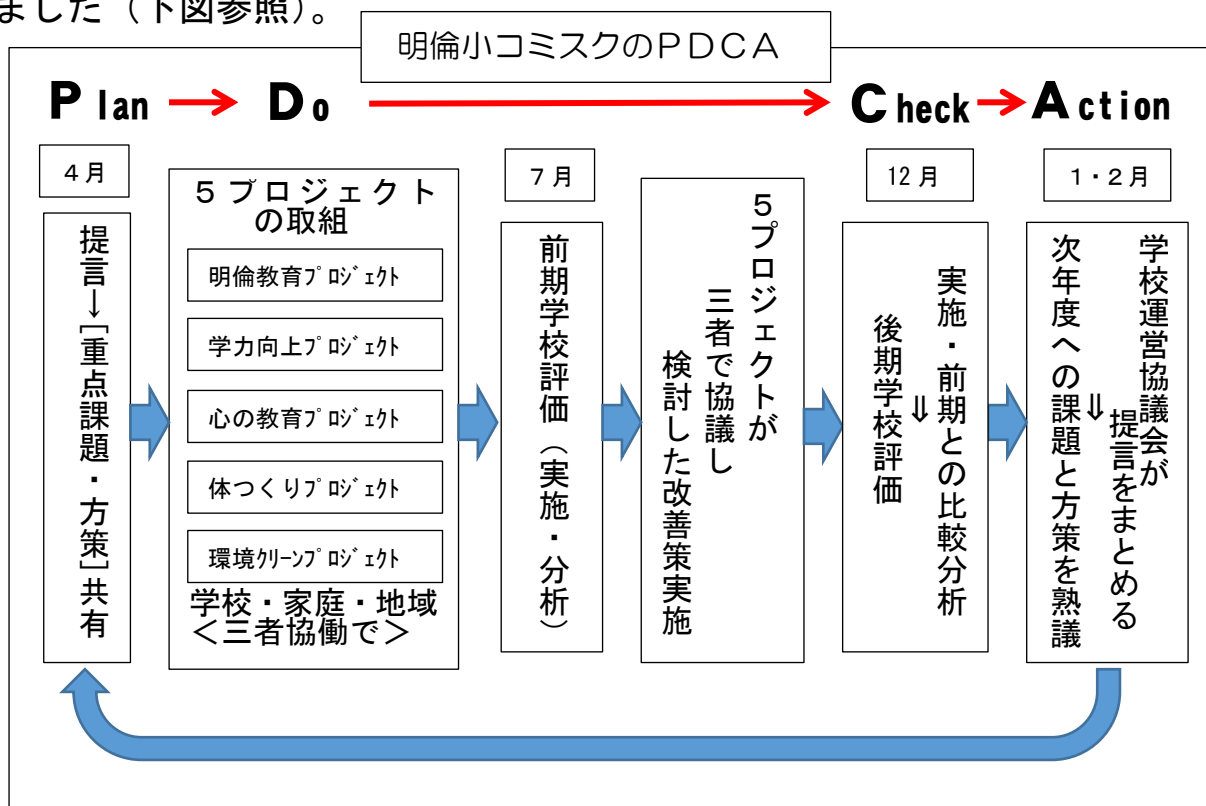


三者協働のPDCAサイクルが機能し めざす明倫小コミュニティ・スクールに向かっていきます

明倫小はコミスク4年目を迎えました。本校のように学校運営協議会が開かれ、学校・家庭・地域の代表が協議し、「三者協働でよりよい学校づくり」に取り組む学校のことを「コミュニティ・スクール」といいます（すでにご存じの方が多くいると思いますが）。

そこで、必要になるのは、「三者協働でよりよい学校づくり」を進める組織的な活動（プロジェクト）とその活動の成果を検証して改善していく仕組み（PDCAサイクル）です。

本校では、昨年度までに皆様のご協力により、すでに5つのプロジェクトが三者協働で組織的に進められ、PDCAサイクルの形も整えられてきました（下図参照）。



P：年度当初、前年度末に出された学校運営協議会からの提言を受け、重点課題や練られた方策が共有されます。

D：5つのプロジェクトの具体的な取組に提言が盛り込まれ、各プロジェクトごとの具体的な取組が、学校だけでなく、家庭・地域と共に三者協働で進められます。

C：7月と12月には、その取組の成果を振り返る学校評価を三者で行い、分析します。

A：この分析結果を踏まえて、学校運営協議会で次年度の課題と方策について熟議を行い、次年度への提言が生まれます。

このようにPDCAサイクルを繰り返し、改善を重ねています。

今年も5プロジェクトが様々な取組を展開しますが、このサイクル上で決定された取組ですので、皆様の学校評価アンケート結果がしっかり反映されたものになっているはずで、より多くの方の意見が取り入れられ、よりよい展開に繋がるよう今年もPDCAサイクルを実行します。